



くめみんだより

2025
8

8月3日（日）に久米地区自主防災協議会主催で「親子で感じる防災教室」を開催しました。このイベントは「自分の家はどんな対策をしているか」「もし災害が起こった時に家族でどのように行動する必要があるか」を親と子供が一緒になって考えることを目的として開催しました。参加者は災害時に実際に避難所となる久米市民センターをにて、避難所の設営、非常食の調理、防災ゲームを体験し、楽しく防災知識を学びました。



避難所での生活とは？

過去の事例をもとに避難所生活の実態と、災害関連死の危険性を勉強した後、間仕切りテントと段ボールベッドを全員で協力して作成。避難所での居住スペースを体験しました。



調理できるの？

災害時にはライフラインが止まったり、調理器具がまともに使えないことが想定されます。今回はポリ袋とカセットコンロを使い湯煎のみでのカレー作りにチャレンジ。容器はチラシを折って紙食器を作りました。



トイレはどうする？

水が止まってしまった場合、排泄物を流すことができません。防災グッズの中には簡単に組み立て可能なトイレがあり、凝固剤と併用することで水に流さずとも衛生環境を保つことができます。



防災ゲームで遊ぼう！



自分のお家は大丈夫？ 家族で防災について話そう

イベントの締めくくりとして家族全員で防災について話し合う時間を設けました。同南市が作成するハザードマップを広げて、「家がこの辺だから、ここは危なそうだね。」「避難する時のためにこれは準備しておこう。」など会話が盛り上がります。親と子が日頃から防災について考えることが有事の際のスムーズな行動につながります。



「TKB48って？」

TKB48とは避難所においてトイレ・キッチン・ベッドを48時間以内に設置することを目標とする言葉。これらを整備することは避難者の生活に大きな安心感を与え、エコノミー症候群等の災害関連死を防ぐための重要な要素とされています。



いくつ備っていますか？ 防災備蓄品チェックリスト

災害はいつ起こるかわかりません。もしもの時のために、各家庭で災害への備えをしておきましょう

- ☐ カセットコンロとカセットボンベ（1本で約60分） ☐ 水（一人当たり1日3リットル）
- ☐ 食品（レトルト食品やフリーズドライ食品等、水やお湯で簡単に調理ができるもの）
- ☐ 非常用（携帯）トイレ・トイレトペーパー（一人当たり1日約6回分）
- ☐ 衛生用品（マスク・体温計・除菌シート（体・口腔用））

※家族構成やライフスタイルに合わせて3日～7日分の備蓄が推奨されています。



市長へ久米支所・市民センターの 建て替え要望書を提出しました

令和7年8月7日(木)に、久米地区自治会連合会、久米地区コミュニティ推進協議会、久米地区社会福祉協議会、久米地区民生委員児童委員協議会、久米地区体育振興会、久米地区自主防災協議会、久米地区母子保健推進協議会、久米地区福祉員協議会、周南交通安全協会久米支部、久米地区連合スポーツ少年団の10団体の連名で、久米支所・市民センターの建て替え計画を鋭意進め、できる限り早期にその目標年度を地域に示されたい旨の要望書を周南市長へ提出しました。

なお、要望書の全文は久米市民センター1階に掲示しています。



市民センター文庫をぜひご利用ください



久米市民センターでは支所事務室とロビーに市民センター文庫を設置しております。どなたでも自由に本を読むことができますので、久米市民センターにお越しの際はぜひご利用ください。**本のリクエスト**も随時受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。(絵本・図鑑・小説・料理本など色々あります)

借りる時の
ルールがあるよ

1. 支所事務室に設置している貸出記入帳を書いてください
2. 一度に借りれるのは1人3冊まで
期間は1週間です

支所事務室



ロビー

